

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公表番号】特表2017-534650(P2017-534650A)

【公表日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-525074(P2017-525074)

【国際特許分類】

C 07 C 47/228 (2006.01)

C 11 D 3/50 (2006.01)

C 11 D 3/386 (2006.01)

A 61 K 8/33 (2006.01)

A 61 Q 13/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 47/228 C S P

C 11 D 3/50

C 11 D 3/386

A 61 K 8/33

A 61 Q 13/00 101

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月1日(2017.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

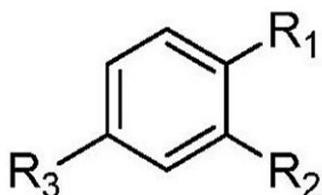
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I

【化1】



式I

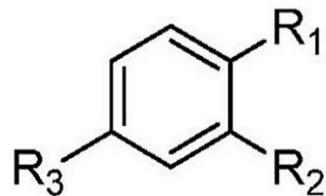
式中、R₁は-(CH₂R₄)_m-(CH₂R₅)_n-(CH₂R₆)_o-CHOであり、R₄、R₅、R₆は独立して、HまたはMeから選択され、m、n、oは独立して、0および1から選択され；

R₂はMeであり；および

R₃は、C₃～C₆分岐、直鎖または環状アルケニル残基である；
により表される化合物。

【請求項2】

式 I
【化 2】



式 I

式中、R₁ は - (C H R₄)_m - (C H R₅)_n - (C H R₆)_o - C H O であり、R₄、R₅、R₆ は独立して、H または M e から選択され、m、n、o は独立して、0 および 1 から選択され；

R₂ は M e であり；および

R₃ は、C₃ ~ C₆ 分岐、直鎖または環状アルケニル残基である；

により表される化合物を放出するのに好適なプロ香料であって、

好ましくは、式 I により表される化合物のアミナールおよび / またはエナミンである、前記プロ香料。

【請求項 3】

香料成分としての、式 I の化合物および / または請求項 2 に記載のプロ香料の使用。

【請求項 4】

式 I の化合物および / または請求項 2 に記載のプロ香料を含む香料組成物。

【請求項 5】

少なくとも 1 種の、請求項 1 に記載の化合物、請求項 2 に記載のプロ香料、または請求項 4 に記載の香料組成物を含む、パーソナルケアまたは家庭用ケア組成物。

【請求項 6】

グリーンの匂い特性をファインフレグランスまたは消費者製品に付与する方法であって、それに請求項 1 に記載の化合物および / または請求項 2 に記載のプロ香料をそれに添加するステップ、およびアルデヒド官能基を含有する置換基に対して環上のオルト位が非置換である、任意のアリール置換アルカナール化合物を前記ファインフレグランスまたは消費者製品から選択的に排除するステップを含み、前記選択的添加または排除は、ラットから単離された肝細胞とインキュベートした場合に、その安息香酸誘導体への酵素的に媒介される分解に対する前記化合物の感受性に基づいており、前記化合物は、それらがその安息香酸誘導体に分解しないことを基準として添加に好適である一方で、前記化合物は、それらがその安息香酸誘導体に分解することを基準として排除される、前記方法。